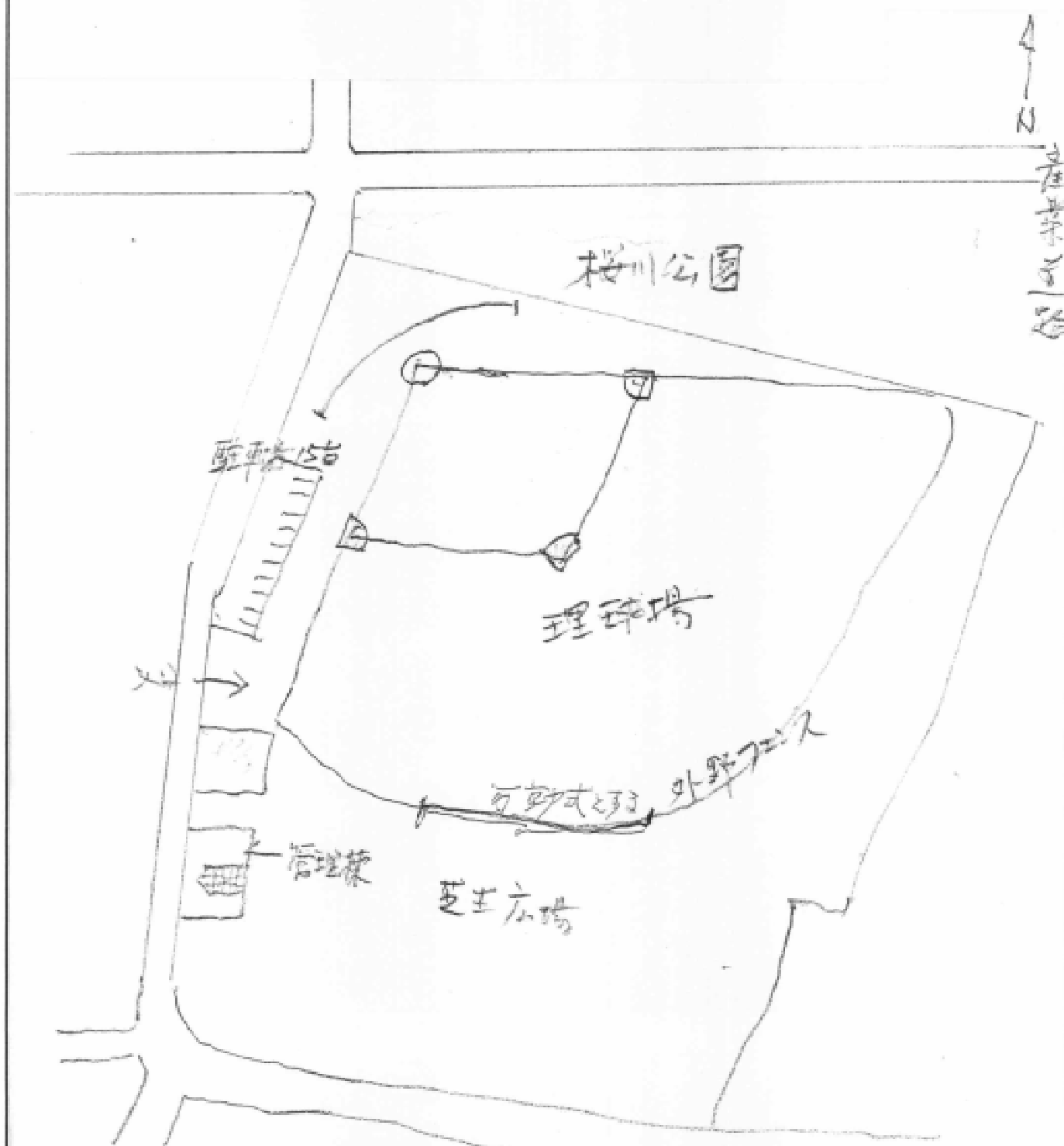


1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

1. 提案のタイトル ●富士見公園などの公園を充実させる

桜川公園の市民球場とする事

2. イメージを伝える写真・絵・図など



3. 提 案

桜川公園の多目的公園化の整備案が進んでいるが
現状の整備案をみると野球場改修の宣費が置れて
いるように思われてはならない、使用状況を見ると野球シーズンは
春→夏→秋の土・日曜に集中している 冬と平日には
外野フェンス可動式にして桜川公園の全体が市民の憩場と
なるようにしてもらいたい。

●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

○行政に期待したいこと

○短期的(すぐ)にできること

○長期的に取り組むことが必要なこと

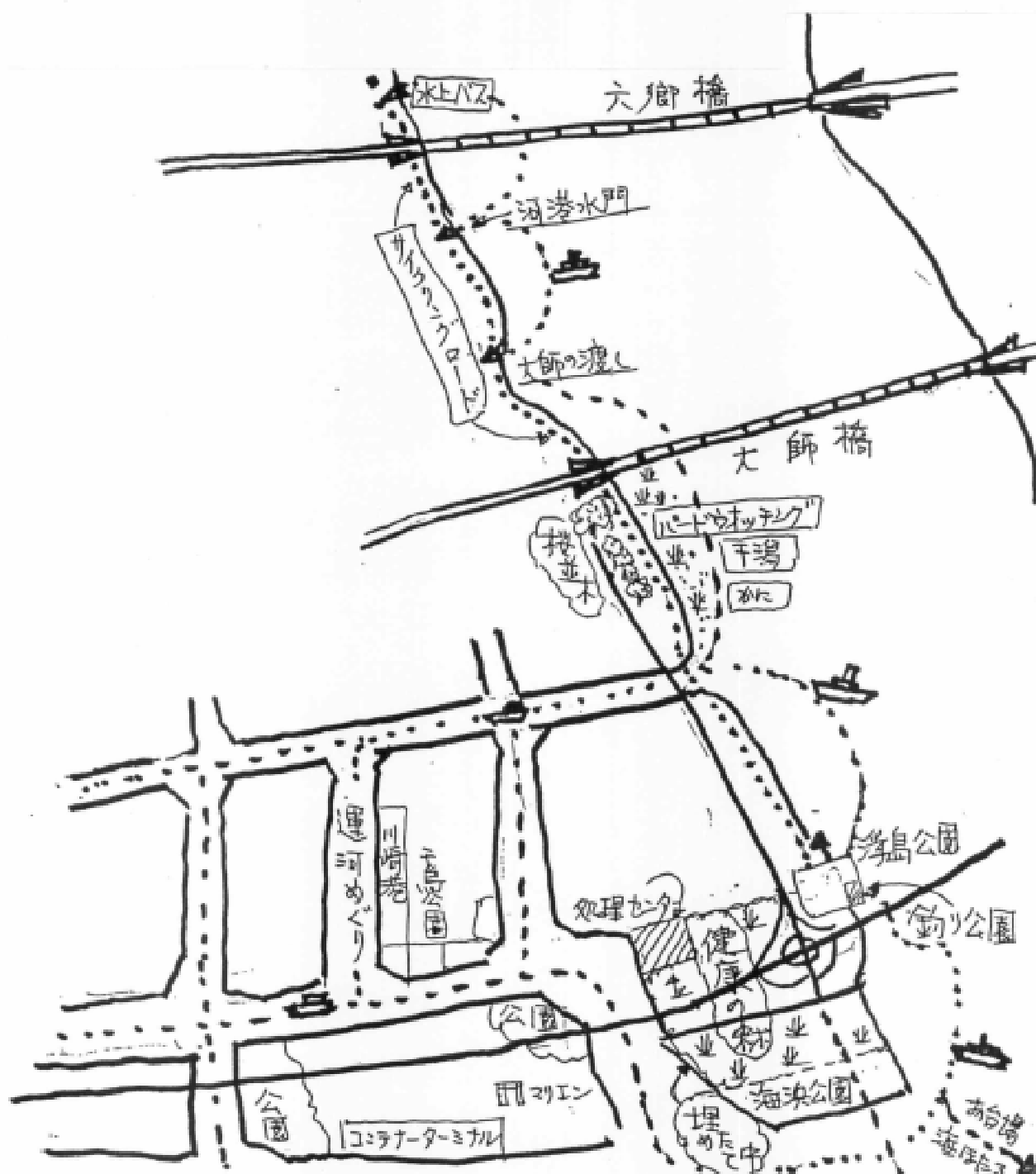
1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

1. 提案のタイトル ●緑と水のネットワークをみんなで作る

多摩川の自然と臨海部の海を市民が手に

——サイクリングロードで結ぶ——

2. イメージを伝える写真・絵・図など



3.提 案 臨海部の埋め立て地に、海浜公園・区民の健康の森などを
集中し、既存の浮島公園の諸施設とあわせて、多摩川の自然と
共に、市民のいえる『大自然再生ゾーン』にする。

- ① サイクリングロードを浮島公園まで延長し、家族で臨海部まで
多摩川の自然、群生した芦、干潟・野鳥・カニ・桜並木など自然に
親しめるようにする。(今でも多数のバドミントンコートが見られます)。
- ② 臨海部の「スポーツ、文化、レクリエーション拠点予定地と、浮島二期
地区に健康の森・海浜公園、パーク、エリア等をつくり、浮島公園の
釣り園、オサベル、森山、港などと一体化し、海をにぎむ、
「再生・自然ゾーン」にしたい。もちろん、海の浜辺、潮干狩りなども……。
- ③ この件については、区民健康の森検討委員会「区とり巨書」
「街づくりクラブ」活動などで、イメージ化と具体化がはかられている。
……シンボル、内容、事業もとり入れたら……
新「ちどり公園」「東扇島火力発電所」の植栽も参考になる。
- ④ 植樹、施設などについては、毎年、春、入学記念、親子植樹
祭などを行い、市民、子供たち、市内中小企業の手を引きたい。
……ヤカでは「自然再生ボランティア」運動も必要となる。
- ⑤ 条件が整備できれば「水上バス」等による、海へのアクセス
も可能となる。その際には東京のお台場、海太丸、川崎港附近
「運河めぐり」などもできるかな……。

●提案を実現していくために……

○市民にできること・市民がすること

親子による植樹運動 → 自然再生ボランティア運動へ

○行政に期待したいこと

まずは、「街づくりクラブ」、健康の森委員会、都25区横断つきの交流を

○短期的(すぐ)にできること

市が利用計画を決定すること。それれば植樹などはすぐ出来るのでは。

○長期的に取り組むことが必要なこと

2010、7頃の健康の森を具体化すること。

1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

1. 提案のタイトル ●旧東海道や川崎宿の史跡を活かす

旧東海道や大師道の史跡を活かしたまちづくり

2. イメージを伝える写真・絵・図など

(長期的) 行政に期待

1. 旧東海道と旧大師道を歩行者がゆつくりと安全に歩ける歩道を
2. 旧東海道、旧大師道も遊歩道でつなげていく
3. 多摩川と旧街道も回遊性で結ぶ
4. 休憩所や宿場記念館の設置
5. 社寺の観光解説も
6. 案内板デザインの統一
7. 観光パンフレットの作製
8. 側壁ブロックを残し、歩道と車道の高さも同じにする
9. 旧東海道を1ヵ所と掘り下げる
10. 水路の復旧

3. 提案

江戸に入る旅人が最後に宿泊した宿場 川崎宿 庶民

かう武家階級へと広がり今もにぎわいを見せる川崎大師

しかし現在の東海道大師道にはその面影はない。かつての街道に沿って歴史パネルが各所に立てられているが、日常生活には旧街道の存在は感じられない。

旧街道沿いには、史跡が多く、これらに立ち寄り、のんびり散策できるような道路整備や、所どころに休憩所を設置していくことは、地域の文化をよびよけ、地域の個性を治かし、美しい景観のまちにすることは、まちの活性化、人々の元氣な源につながるのでは。

1は

市民の役割

1. 歩道の自転車駐輪の撤去 (短)
2. 街の美観を整える。(歩道、植込みのこみ集め) (短)
3. 史跡等のガイドボランティアを
4. 新しい、川崎名物の創造
5. まちあこしの声を井戸端会議に (短)